



人は生まれながら平等であり、虐待やいじめはあってはならないことです  
 (「手をつなぐ親の会・親子お楽しみ会」の様子)



鎌田孝典議員

## 障害者福祉

# 知的障害者の尊厳を守れ

## 虐待やいじめはあってはならない

**質問** 当町の社会福祉法人が運営する、知的障害者更生施設で、あってはならない障害者の人権が守られない大変な事故が起きている。

この事で宮古地方振興局障害者福祉課により、延べ三回の監査が行われている。県は不自然なケガが続いている問題で、同施設を指導

監査し事実関係を精査している。県によると処遇上の問題が疑われる負傷事故に対し監査を行うのは異例の措置と新聞などで報道されている。社会福祉法第七十五条第二項、社会福祉法第八十三条などにより、市町村は住民と最も身近な行政機関であり、障害者の援護の実施者として、サービス利用に関する苦情、相談に応じることが求められるが、町としてどのように考えているか。

沼崎町長 町内に所在す

る知的障害者更生施設で入所者がケガをした報道があった。このことについては、県及び施設からも報告があり、残念なことと思っている。これを受け、町としても今後このようなことが無いよう再発防止について、充分の留意を施設に要請したところである。

すべての人間は生まれながらにして自由であり、尊厳と権利についても平等に、一人一人の人権は尊重されなければならない。虐待やいじめなどで人権が侵害されることはあってはならない。

市町村は住民に最も身近な行政機関であり、障害者の援護、苦情、相談に応じることが求められており、今後とも県や関係機関、団体とも連携をとりながら出来る限りの支援、相談などに応じていきたい。

## 町の考えを聞く